

営農技術情報

発行 令和7年4月22日

第1号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

地温を確保し良好な出芽を目指しましょう。

本年は曇天や雨の日が多く、最低気温が0℃近くなる日もある為、以下を参考にハウス内の温度低下に注意しましょう。また日照が続くと急激にハウス内の気温が上がるため、高温障害（ヤケ）の原因となります。被覆資材の下の気温はさらに上がっている可能性が高いため育苗ハウスの温度管理を以下の通り徹底しましょう。

1) 播種直前：できる限り地温を確保しましょう！

前日午前中までに灌水し、ビニールで被覆し地温を確保する。

2) 播種後：種籾付近の温度を10℃以下にしない！

シルバーポリのベタ掛けのみの場合は、透明ポリ等で、二重トンネルを設置し、曇天時や夜間に併用する。

または、シルバーポリのベタ掛けの下に透明ポリのベタ掛けを設置し、曇天時にはシルバーポリを開放する。ただし、日照があると急激に温度が上昇するので、高温障害（ヤケ）に十分注意しましょう。

本年の育苗巡回について

4月23日より順次育苗巡回致しますので、巡回を希望されない方は、事前に農産販売課（57-2357）までご連絡下さい。

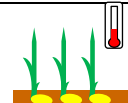
適切な育苗管理・ハウス管理で健康な苗作りに努めましょう。

《は種直後～1.5葉期までの育苗ポイント》

◇置床出芽の芽は徒長を防ぐために70%程出芽したら、シルバー等を取り除きます。

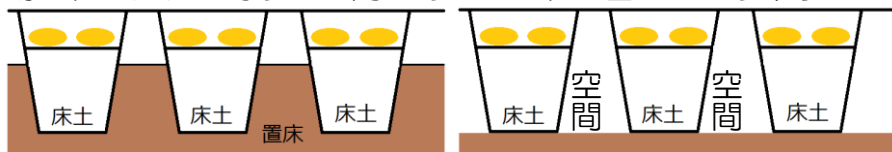
◇出芽～1.5葉期までは、苗の育っている場所の温度が10℃以下にならないよう、二重トンネルなどで保温しましょう。

◇特に「成苗ポット」はポット表面の温度が上がりやすいので注意しましょう。

育苗期間	は種～出芽前	出芽揃～1.5葉期
適温	30～32℃	20～25℃
ハウス換気温度	35℃以上	25℃以上
温度測定場所	籾の位置（地温） 	葉先近く 
灌水のポイント	過剰灌水は避ける	早朝に一回十分灌水し、床土の過湿を避け過剰灌水はしない
二重トンネル	夜間使用（夜温を10℃以上に保つ）	



置床鎮圧を実施している場合、ポットの周りに空間があるため、地温が上がりやすいので、注意が必要です。



「余り種子」がある方は、ご連絡をお願いします！

播種後、余り種子が出ましたら、農産販売課（57-2357）までご連絡頂きますよう、ご協力お願い致します。

なお、2～3日JAより引取りの連絡がない場合は、処分して頂いて構いません。

